

# きずな通信 No.37



2020年6月1日  
発行 みやぎ地域づくり交流会  
事務局 宮城公民館内

## 地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

### 令和元年度の活動報告

この3月に地区内報告会を開催する予定でしたが、感染症予防対策のため中止となりましたので、紙面にて報告させていただきます。同日開催予定のスローシティ講演会は、別の機会に延期といたしました。

#### ▼ふれあい交流部会

○第12回いいもんまつり  
11月3日(日)

来場 約千百人



<須藤画伯コーナー>

○三夜沢あずきプロジェクト  
クト(収穫12kg)

種まき作業活用

○三夜沢あんぱんづくり講座

12月21日(土) 参加22人



○軽スポーツフェス3月中止

▼自然環境交流部会  
○荒砥川自然満喫会

5月19日(日) 参加156人



○荒砥川美化活動

春6月2日(日) 参加67人

秋10月13日(日) 参加59人



○星空観覧会2月(共催)中止

#### ▼福祉交流部会

○エコキャップ回収運動

前期 153kg 後期 228kg



<年2回の仕分作業>

○福祉交流サロン活動援助

○健康事業協力

電子血圧計 各自治会配布

講座や健康コーナー協力



○生活支援体制整備事業

企画会議・研修会参加協力

#### ▼広報委員会

○部会事業の取材・宣伝・広報

・市推進大会でのコーナー設置、文化祭でのビデオ放映やフェイスブックの活用など

○ななあざファミリーの活用

・納涼祭コーナーなど

○きずな通信発行

年4回発行 周知・報告など

#### ▼全体事業

○企画・運営委員会 計7回

○各種事業協力参加

・のびゆくこどもついで

・前橋市地域づくり推進大会

・納涼祭

○地域づくりワーキング 書面

○地区内報告会 中止・延期

☆交流会今年度の予定

令和2年度も前年度以上の

交流事業を予定しようとして

いましたが、この情勢で実行は

おろか計画準備も一向に進み

ません。今後、小康状態が続き

「新しい生活様式」を實踐する

中で、やれるものから進めてい

きますので、実施の際は「協力

をお願いいたします。

なお、本年度の「荒砥川自然満喫会」は中止としました。

# きずな特集

## みやぎ七字ファミリー誕生の軌跡①

みやぎ七字ファミリーという地域づくりのイメージキャラクターが誕生してから、はや8周年。みやぎ地区の住民の方はもちろん、前橋全体でも親しまれてきました。そもそも七字ファミリーはどのように生まれたのでしょうか？ここで、ファミリーの誕生の裏ストーリーをひとつふたつ。。。

それは2012年のこと…。みやぎの地域づくりをもっと親しみやすいものにしようと、広報部にて、みやぎのイメージキャラクター(ゆるキャラ)を作ろうという企画が立ち上がりました。



最初は一体のキャラクターで考えたのですが、みやぎの個性を考えれば考えるほど七つの字(町)のそれぞれに個性があるとわかり、ひとつに絞れなかったのです。それならば、いっそ7つの字ごとにキャラクターを作ってしまうおうという考えにいたりしました。

そうやって出来た第1案がこちら

ドーン！！



…今見るとつみこみどころばかりですね…。みよちゃんパーマ頭…。はなげ君…。かしわ君あたまに何か乗ってる…。イチノは最初たいこん男だった…。ばば君にいたっては意味不明の生物…？

そしてブラッシュアップして出来た第2案

ドドーン！！



だいぶそれぞれの個性が出てきました！ばばくんは一度動物から離れました。この時点では戦隊ものをイメージしていたからです。

さらにそれぞれの地域性や名前の特徴をもとに磨き上げたキャラクターが。。。。！！

- 鼻毛石 ⇒ 学校などがあり、知を象徴する『ハナイシ博士』
- 柏倉 ⇒ 柏から柏餅の『かしわ君』
- 市之関 ⇒ イチノセキから、くのイチの『イチノ』
- 三夜沢 ⇒ 赤城神社の巫女の『みよちゃん』
- 苗ヶ島 ⇒ 稲作が盛んなので稲を持つ『なえちゃん』
- 馬場 ⇒ 馬力が自慢の『ばば君』
- 大前田 ⇒ 有名な大親分、大前田英五郎がモデルの『オーマ君』



みなさんおなじみの顔ふれになりました！  
シンボルの赤城山をバックに「バチ！」